



奈良県感染症情報

令和5年 第21週(5月22日～5月28日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- エムボックスについて

定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	6.65	(7.50)	➡	↗	➡	↓
2	RSウイルス感染症	4.00	(3.79)	↗	➡	↑	↑
3	新型コロナウイルス感染症	3.29	(3.33)				
4	ヘルパンギーナ	2.21	(1.71)	↑↑	↑↑↑	↑↑↑	↑↑↑
5	A群溶連菌咽頭炎	1.32	(0.94)	↑	↑↑	↑	➡

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**➡横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**
 新型コロナウイルス感染症の増減は、第24週から表示できます

県内概況

感染性胃腸炎の報告数は横ばいで、やや流行の状態が続いています。患者は幼児が主ですが、10歳以上の報告もおよそ17%(226例中39例)含まれます。

RSウイルス感染症の報告数はやや増加しており、報告された患者のおよそ85%(136例中115例)は3歳以下の乳幼児です。乳幼児は重症化しやすいため、感染予防への配慮が大切です。

新型コロナウイルス感染症の定点あたり報告数は3.29で、第20週から大きな変化はありません。

ヘルパンギーナの報告数が急増しています。前週と比較すると、とくに県北部で増加が見られます。ヘルパンギーナには予防接種はなく、発症した場合は対症療法になります。手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染予防につとめましょう。



エムボックスについて

「エムボックスって、何?」と思われた方も多いかもかもしれません。これまで日本では「サル痘」とよばれていた疾患のことです。WHOは、2022年11月28日に「monkeypox」に代えて「mpox」の使用を推奨し、1年の期間をかけて移行すると発表しました。このことをふまえ、日本においても2023年5月26日に感染症法上の名称が「エムボックス」に変更されました。

エムボックスは、エムボックスウイルス感染による急性発疹性疾患で、感染症法では4類感染症に位置づけられます。主にアフリカ中央部から西部にかけて発生が見られましたが、2022年5月以降は欧米を中心にアフリカへの渡航歴がない症例が報告されるようになり、2023年5月23日時点で8万人以上の患者発生が報告される流行となりました。日本では、2022年7月に患者が確認されてから散発的な発生が認められ、2023年に入り患者報告数の増加が見られています。日本国内では5月26日公表時点で163例が報告されており、患者はすべて男性です。

典型的な症状は、6～13日の潜伏期間の後、発熱、頭痛、リンパ節腫脹等の症状が数日続き、発熱から1～3日後に発疹が出現します。発症後、2～4週間で治癒するとされています。

なお、エムボックス常在国外で見られた症例では、皮疹の特徴や症状の経過でこれまでとは異なる所見が報告されており、注意が必要です。疑わしい症状があれば、まず医療機関に相談してください。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 5 年 第 21 週 5 月 22 日 ~ 5 月 28 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野			
インフルエンザ	55 (0.60)	14 (0.36)	14 (0.14)	11 (0.36)	10 (1.90)	6 (0.50)		
新型コロナウイルス感染症	181 (3.29)	30 (2.14)	46 (3.29)	43 (3.91)	42 (4.20)	20 (3.33)		
小児科定点数	34	9	9	7	6	3		
RSウイルス感染症	136 (4.00)	18 (2.00)	11 (1.22)	46 (6.57)	58 (9.67)	3 (1.00)		
咽頭結膜熱	23 (0.68)	2 (0.22)	1 (0.11)	13 (1.86)	5 (0.83)	2 (0.67)		
A群溶連菌咽頭炎	45 (1.32)	13 (1.44)	14 (1.56)	4 (0.57)	12 (2.00)	2 (0.67)		
感染性胃腸炎	226 (6.65)	30 (3.33)	88 (9.78)	39 (5.57)	65 (10.83)	4 (1.33)		
水痘	3 (0.09)		2 (0.22)		1 (0.17)			
手足口病	12 (0.35)	2 (0.22)	7 (0.78)	1 (0.14)	2 (0.33)			
伝染性紅斑	1 (0.03)	1 (0.11)						
突発性発しん	9 (0.26)	1 (0.11)	2 (0.22)	4 (0.57)	2 (0.33)			
ヘルパンギーナ	75 (2.21)	16 (1.78)	9 (1.00)	18 (2.57)	31 (5.17)	1 (0.33)		
流行性耳下腺炎	3 (0.09)				3 (0.50)			
眼科定点数	10	3	3	2	2	0		
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	3 (0.30)			3 (1.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	1		
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(奈良市3、中和1)
3類感染症	
4類感染症	レジオネラ症1件(郡山1)
5類感染症	急性脳炎1件(中和1)、 侵襲性肺炎球菌感染症3件(奈良市1、郡山1、中和1) 梅毒2件(郡山2)

❖ 第21週のトピックス ❖

麻疹について(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/k_ekaku-kansenshou/measles/index.html

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男女			1	2	1	2	3	1			1	4	2	1		3	2	1			22	4412
新型コロナウイルス感染症	男女		2	3	1	1	1	2	2	1		1	8	6	6	11	8	5	10	7	1	73	215
RSウイルス感染症	男女	5	8	23	11	18	8	2	3		1		1									80	455
咽頭結膜熱	男女	2	10	16	12	10	6															56	358
A群溶連菌咽頭炎	男女		2	6	2		2															12	83
感染性胃腸炎	男女	4	1				3		2				1									11	59
水痘	男女			1	7	1	5	3	3	3	2		1			1						27	179
手足口病	男女				1		4	3	3	3	4	1	1		1							18	114
伝染性紅斑	男女	7	16	16	18	9	17	7	3	4	2	13			6							118	2262
突発性発しん	男女	3	17	20	12	13	10	2	5	2	4	2	2	2	16							108	1848
ヘルパンギーナ	男女		1									1										1	6
流行性耳下腺炎	男女									1	1											2	9
急性出血性結膜炎	男女																						
流行性角結膜炎	男女						1														1	30	
細菌性髄膜炎	男女																					1	3
無菌性髄膜炎	男女																					2	1
マイコプラズマ肺炎	男女																						1
クラミジア肺炎	男女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																						1

注目疾患の動向 全て定点当たり報告数

